

出エジプト記 13:1-15:21 分けられた葦の海

今日は出エジプト記 13:1 から 15:21 までを見ていきます。まずこの書の中のどの部分にいるのかを説明します。モーセは燃える柴の中で神に会いました。そしてイスラエルの民をエジプトから連れ出すようにという命令に渋々従いました。もちろん、パロはすぐには同意せず、自分たちを去らせて欲しいというモーセらの要求を拒みました。神はパロとエジプトに対して 10 の災いをもたらし、エジプト人が崇拝する偽りの神々に対するご自身の権威を示され、ついには彼らが神とみなすパロに対してもご自身の力を示されました。最後の災いである初子の死は、家の戸口に血がつけられた家の初子を神が過越し守るという素晴らしい姿へとつながります。この最後の災いの後、パロは奴隷となっていたイスラエルの民を自由に行かせることを許しただけでなく、実質的にエジプトの地から追い出し、イスラエルの民は、エジプト人の隣人たちからの贈り物を携えてエジプトを出ました。そして今日の箇所である 13 章から 15 章に至ります。この箇所では、紅海を渡ったことと、そこで起こった奇跡という一つの大きな出来事に注目します。ですが、これを通して皆さんに見ていただきたいことは、神の民が神の導きに従うことの必要性です。私たちは神に従うべきだとよく口にしますが、それは実際にどのような様子を指すのでしょうか。今日の聖書箇所に見ることができます。

この箇所で最初に目にするのは、神に従うということは神の御業を思い起こすということです。13 章は、神が過越しの業を思い起こすための行動を命じることから始まります。1-2 節にはこう言っています。「主はモーセに告げられた。2 「イスラエルの子らの間で最初に胎を開く長子はみな、人であれ家畜であれ、わたしのために聖別せよ。それは、わたしのものである。」」そして 14-15 節では、なぜそれが命じられているのかを教えてください。「14 後になって、あなたの息子があなたに『これは、どういうことですか』と尋ねるときは、こう言いなさい。『主が力強い御手によって、私たちを奴隷の家、エジプトから導き出された。15 ファラオが頑なになって、私たちを解放しなかったとき、主はエジプトの地の長子をみな、人の長子から家畜の初子に至るまで殺された。それゆえ私は、最初に胎を開く雄をみな、いけにえとして主に献げ、私の子どもたちの長子をみな贖うのだ。』」初子を聖別するとは、人や家畜のすべての初子を聖なるものとして捧げることです。家畜の場合はいけにえとして捧げること、子どもの場合は通常、贖いの代価として神に金銭的な捧げものをすることを意味しました。最後の災いの対象となったのは、子どもたちの長子と家畜の初子であったことを覚えておられるでしょうか。門柱に塗られた血によって彼らは死から守られました。つまり、今神に属する初子は、門柱に塗られた血によって死から守られ、贖われた、全ての長子の贖いを象徴しているのです。彼らは自分たちのために捧げられたいけにえの血によって、「聖くされた」のです。ここにもまた、私たちの救いの素晴らしさが描かれています。私たちは聖くされたので、神との関係を回復することができ、神の民の一人、さらには神の子の一人とされます。それは、キリストが十字架で血を流され、私たちの贖いを成し遂げてくださったからです。神はご自分の民が、その贖いと自由をもたらすために成された御業を決して忘れないことを望まれました。全てにおいて最初のもの、最高のものを神に捧げるとは、この世で神が私たちに与えてくださる全てのものは、神のものであることを思い起こさせます。これは、イエスに従い、自分の人生における神の導きに従おうとする私たちにとっても同じことです。もし私たちが、救いに始まり、子どもたち、家族、お金や財産に至るまで、この世のすべてを神の恵みゆえの賜物と見なさないなら、それらを我が物顔で守り、また、神に従うことがそれらを手放すことを意味するなら、神に従うことを躊躇してしまうでしょう。そうならないために、私たちは常に振り返り、神が十字架上で成してくださったことを通して人生のすべてを見ることです。それこそが文字通り「福音あるいは十字架を中心とした人生」を生きるということなのです。

出エジプト記 13:17-22 では、神に従うとはどのようなことかについて、この箇所に見られる 2 つ目の見解が記されています。それは神の導きを信頼するということです。「17 さて、ファラオがこの民を去らせたとき、神は彼らを、近道であっても、ペリシテ人の地への道には導かれ

なかった。神はこう考えられた。「民が戦いを見て心変わりし、エジプトに引き返すといけない。」 18 それで神はこの民を、葦の海に向かう荒野の道に回らせた。イスラエルの子らは隊列を組んでエジプトの地から上った。」そして21-22節にはこうあります。「21 主は、昼は、途上の彼らを導くため雲の柱の中に、また夜は、彼らを照らすため火の柱の中にいて、彼らの前を進まれた。彼らが昼も夜も進んで行くためであった。 22 昼はこの雲の柱が、夜はこの火の柱が、民の前から離れることはなかった。」この箇所、神がなぜそのように導かれるのかについて、神の思いを見ることが出来ます。最初に、神が彼らを戦いから遠ざけられたのを見ます。もちろん、その後戦うことにはなるのですが。それは、神が民の神への信頼を築こうとされたためであり、信仰を持ち始めたばかりの民をその歩みの最初の段階でつまづかせないためでした。後に見るように、神はすぐに民の信仰を試されますが、彼らがエジプトに戻るよりも、神に信頼するしかないような状況で民を試されました。神は民の信仰が強められることを望まれるので、信仰を砕くのではなく、強められるように導かれます。困難は訪れますが、信仰が増すよりも信仰が砕かれるような他の様々な困難から民を守られます。神はすべての患難を取り除くことは決して約束されませんが、神に信頼し続ける者には道を与えてくださると約束されます。困難にあうとき、私たちは多くの場合、御国で神に会うまでは、私たちをもっと傷つけ、神から背を向けることにつながりかねないような状況から神が私たちを遠ざけてくださったことを知ることはありません。1 コリント 10:13 はこのように言っています。「あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。」ですが、読み進めていくと、雲の柱と火の柱の中に神がおられ、民がより神に信頼し、神がより大きな栄光を得られるところへと導かれることを見ます。それは、神の導きが常に目指すところでもあります。14章に入り、5節からにはこうあります。「5 民が去ったことがエジプトの王に告げられると、ファラオとその家臣たちは民に対する考えを変えて言った。「われわれは、いったい何ということをしたのか。イスラエルをわれわれのための労役から解放してしまったとは。」 6 そこでファラオは戦車を整え、自分でその軍勢を率い、 7 選り抜きの戦車六百、そしてエジプトの全戦車を、それぞれに補佐官をつけて率いて行った。 8 主がエジプトの王ファラオの心を頑なにされたので、ファラオはイスラエルの子らを追跡した。一方、イスラエルの子らは臆することなく出て行った。 9 エジプト人は彼らを追った。ファラオの戦車の馬も、騎兵も軍勢もことごとく、バアル・ツェフォンの前にあるピ・ハヒロテで、海辺に宿営している彼らに追いついた。」パロがイスラエルの子らを去らせたことを後悔するのに時間はかかりませんでした。そして再び、イスラエルの子らが苦しむと思われるような形で、神はパロの心を頑なにされるのを見ます。もちろん、イスラエルの子らはまさにそのような反応を示しました。10節の後半から見てください。「イスラエルの子らは大いに恐れて、主に向かって叫んだ。 11 そしてモーセに言った。「エジプトに墓がないからといって、荒野で死なせるために、あなたはわれわれを連れて来たのか。われわれをエジプトから連れ出したりして、いったい何ということをしてくれたのだ。」ですが、モーセは以前と違って、同じ恐れを抱くことはありませんでした。モーセは13節で、神への完全な信頼をもって答えます。「13 モーセは民に言った。「恐れてはならない。しっかり立って、今日あなたがたのために行われる主の救いを見なさい。あなたがたは、今日見ているエジプト人をもはや永久に見ることはない。 14 主があなたがたのために戦われるのだ。あなたがたは、ただ黙っていなさい。」」モーセは既に神の導きを信頼するところに到達していて、それこそが神がイスラエルの子らを導こうとされているところでもありました。民は神に従っていたものの、神が導こうとされる方向をいまだ信頼していませんでした。そして、彼らのリーダーに対する信頼を築くため、奇跡を起こされます。

想像してみてください。彼らは戦車と馬、槍と剣という当時の最新鋭の軍事力をもって向かって来るエジプト軍と、目の前にある紅海に挟まれていました。地図に示された地域をご覧ください。その地域は現在のスエズ湾（赤）かアカバ湾（緑）の辺りのことと思われます。この一帯が紅海として知られていました。日本語の聖書では葦の海と訳されており、注釈で紅海という別訳が記されています。どちらの名前も歴史上用いられてきましたが、リベラルな学者の中には葦の

海という名前を用いて、水深がそれほど深くなかったのでそれほどまで奇跡的な出来事ではなかったと主張する人たちがいますが、いずれにしても同じ海域です。百万人以上の人がその水際に追い詰められました。ですが、その時、雲が移動してエジプト人の視界を遮り、21 節には次のように記されています。「21 モーセが手を海に向けて伸ばすと、主は一晩中、強い東風で海を押し戻し、海を乾いた地とされた。水は分かれた。22 イスラエルの子らは、海の真ん中の乾いた地面を進んで行った。水は彼らのために右も左も壁になった。」イスラエルの民は乾いた地面を渡りました。ですが、エジプト人が同じようにしようとしたとき、26 節からには次のように記されています。「26 主はモーセに言われた。「あなたの手を海に向けて伸ばし、エジプト人と、その戦車、その騎兵の上に水が戻るようにせよ。」27 モーセが手を海に向けて伸ばすと、夜明けに海が元の状態に戻った。エジプト人は迫り来る水から逃れようとしたが、主はエジプト人を海のただ中に投げ込まれた。28 水は元に戻り、後を追って海に入ったファラオの全軍勢の戦車と騎兵をおおった。残った者は一人もいなかった。」600 もの戦車を失ったことがエジプトにどれほどの影響を与えたかは分かりませんが、エジプトは更に 1000 年もの間、帝国であり続けました。ですが、イスラエルの民にとって、この奇跡を見たことがどのような影響をもたらしたのかは 31 節を見ればわかります。「31 イスラエルは、主がエジプトに行われた、この大いなる御力を見た。それで民は主を恐れ、主とそのしもべモーセを信じた。」神の導きに信頼することについて真理の最後のポイントがここにあります。それは神の働きを覚えている事にもつながります。そのポイントとは、一つ一つの勝利が更なる信頼につながるということです。神の導きに対する新たな信頼を得た今、モーセはこれから 40 年続くことになる旅において民を導くことができるようになりました。

この個所の最後には、神に従うとはどういうことかについて最後の点が示されています。それは神の導きに私たちは礼拝で応答するということです。神が成し遂げてくださったことを振り返り、神の導きを信頼すればするほど、私たちは真の礼拝へと導かれます。15 章 1 節を見てください。「そのとき、モーセとイスラエルの子らは、主に向かってこの歌を歌った。彼らはこう言った。「主に向かって私は歌おう。主はご威光を極みまで現され、馬と乗り手を海の中に投げ込まれた。」」神の導きに従ったことにより神がどのように働いてくださったのかが、この歌の中で民がどのように神を賛美することにつながっているかに注目してください。この歌はとても素晴らしいので、是非そのすべてをご自分で読んでみることをお勧めします。2-4 節はこの出来事が象徴する救いの全体像に焦点を当てています。「2 主は私の力、また、ほめ歌。主は私の救いとなられた。この方こそ、私の神。私はこの方をほめたたえる。私の父の神。この方を私はあがめる。3 主はいくさびと。その御名は主。4 主はファラオの戦車とその軍勢を 海の中に投げ込まれた。選り抜きの補佐官たちは葦の海に沈んだ。」そこでは具体的に描写された出来事に基づいて神の御名が称えられています。それは今日の次々と消えてゆく多くのワーシップソングにある、何の脈絡もなく一般的な言葉がつなぎ合わされたものではありません。この出来事の描写は、神のご性質を讃えることにつながっています。11-13 節を見てください。「11 主よ、神々のうちに、だれかあなたのような方がいるのでしょうか。だれがあなたのように、聖であって輝き、たたえられつつ恐れられ、奇しいわざを行う方がいるのでしょうか。12 あなたが右の手を伸ばされると、地は彼らを呑み込んだ。13 あなたが贖われたこの民を、あなたは恵みをもって導き、御力をもって、あなたの聖なる住まいに伴われた。」聖、恵み、輝き、神を表すすべての言葉は、神が過去だけではなく未来においても私たちを導いてくださることへの信頼を築くものです。イスラエルにとっての未来は約束の地でした。17-18 節には次のようにあります。

「17 あなたは彼らを導き、あなたのゆずりの山に植えられる。主よ、御住まいのために、あなたがお造りになった場所に。主よ、あなたの御手が堅く建てた聖所に。18 主はとこしえまでも続べ治められる。」私たちの礼拝も同じように形作られるべきです。なぜ、礼拝の歌の中で十字架に大きな焦点を当てるのでしょ

見られることと同じことをしているのです。このことについてはもっと多くの時間を費やすことができますが、重要なのは、礼拝が神への私たちの信頼と神の導きから自然と生まれるものであるということです。

ここでは神が成し遂げてくださったことへの応答としてのイスラエルの礼拝を見ますが、解放される前の礼拝も見ることができます。新約聖書において最初の宣教師であったパウロとシラスは、ピリピの町で牢に入れられました。そして使徒の働き 16:23-25 にはこのようにあります。「そして何度もむちで打たせてから二人を牢に入れ、看守に厳重に見張るように命じた。24 この命令を受けた看守は、二人を奥の牢に入れ、足には木の足かせをはめた。25 真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ、神を賛美する歌を歌っていた。ほかの囚人たちはそれに聞き入っていた。」解放されたわけでもないのに、この礼拝はどこから来たのでしょうか。それは、彼らが最高の救いを経験したからです。この紅海を渡った出来事は、驚くべき救いの奇跡ではありませんが、そこにはより素晴らしい解放と、水を押し戻し民を解放したことよりも大きな神の力の現れがありました。1 コリント 1:18-19 はこの奇跡について次のように言っています。「十字架のことは、滅びる者たちには愚かであっても、救われる私たちには神の力です。」彼らは、創造主から自分たちを隔てる罪と、その罪から救われる必要があることを認識していました。その罪からの救いは、モーセより偉大な方を通してのみ得られるものです。その方は、私たちの罪と私たちが受けるべき罰をご自分の身に負ってくださった十字架により、罪の中に死んだ者に聖なる神の栄光への道を与えてくださいます。そして、パウロやシラス、そしてモーセ自身が未来の贖い主への信仰によってそうであったように、私たちが罪を悔い改め、イエス・キリストを救い主と受け入れるとき、これまでで最高の奇跡を経験するのです。死から命へ、滅びから救いに向かいます。それはイエス・キリストに通してのみ可能です。私たちがどのような状況にあろうとも、そのことが礼拝につながります。もし神の導きが、あなたをより豊かな礼拝と神に更により頼むことへとにつながらないとしたら、あなたが従ってきたのは神の導きなのか、それともあなた自身の欲望なのか、疑わざるを得ません。神の導きは、大抵最も容易いところを通るものではありませんが、更に大きな信仰へと導くものです。私たちは神の御業を覚え、神の導きに信頼し、その導きに礼拝で応答します。今日、皆さんはそのように神に従っておられるでしょうか。祈りましょう。

Exodus 13:1-15:21 The Red Sea

Today we are going to look at Exodus 13:1 and go through chapter 15, verse 21. I want to set the stage with where we are at in the book. Moses has met God at the burning bush. He has reluctantly agreed to God's call to lead the people of Israel out of Egypt. Of course Pharaoh does not immediately agree to this, and he rejects their demands to leave. God brings 10 plagues against Pharaoh and Egypt, showing his authority over the false gods they worship and ultimately his power over Pharaoh who they view as a god. The last plague, the death of the first born leads to the beautiful picture of the Passover as God preserves the first born of anyone with the blood applied to the door of their home. After this final plague, Pharaoh not only allows the enslaved Israelites to go free, he essentially kicks them out of the land of Egypt, and they leave Egypt with gifts and treasures given them by their Egyptian neighbors. That brings us up to where we are today at chapters 13-15. These chapters will focus on one primary event, the crossing of the Red Sea and the miracle that occurs there. But what I want us to see across these chapters is the necessity of God's people following God's leading. We talk a lot about the fact that we should follow God, but what does that really look like. We see that in this passage today.

The first idea we see in this passage regarding what following God looks like is remembering God's work. Chapter 13 opens with God commanding an action to cause them to remember the work of the passover. Verses 1-2 say, **The LORD said to Moses, ²“Consecrate to me all the firstborn. Whatever is the first to open the womb among the people of Israel, both of man and of beast, is mine.”** Then verses 14-15 tell us why this was commanded. **¹⁴ And when in time to come your son asks you, ‘What does this mean?’ you shall say to him, ‘By a strong hand the LORD brought us out of Egypt, from the house of slavery. ¹⁵ For when Pharaoh stubbornly refused to let us go, the LORD killed all the firstborn in the land of Egypt, both the firstborn of man and the firstborn of animals. Therefore I sacrifice to the LORD all the males that first open the womb, but all the firstborn of my sons I redeem.’** Consecrating all the firstborn means to give over to God as holy every firstborn human or animal. For the animals it meant animal sacrifice and for the children it usually meant making a financial offering to God as their redemption price. Remember that it was the firstborn of the children and the firstborn of the animals that were the focus of the final plague. The blood on the door protected them from death. So, it is now the firstborn that belong to God as a picture of the redemption of all the firstborn that were preserved, redeemed from death, by the blood on the door. They were “made holy” by the blood of the sacrifice made on their behalf. Here again we can see this incredible picture of our salvation. We are made holy, therefore we can be restored to God and made one of his people, even one of his children, because Christ accomplished our redemption on the cross by shedding his blood. God wanted his people to never forget the work he had done to bring about their redemption and their freedom. And giving to him the first and best in everything starting with their own children would remind them of God's right to ownership of everything he blessed them with in this life. This is the same for us in following Jesus and seeking to follow God's leading in our lives. If we do not view everything in this life as a gift from God that comes only from his grace, starting with our salvation, but extending even to our children, our family, our money, our possessions then we will be selfishly protective of those things and hesitant to follow God if following him means giving those things up. The way to guard against that is to constantly look back and view all of life through what

God has done for us on the cross. This is quite literally what it means to live a “gospel or cross centered life”.

Verses 17-22 of Exodus 13 introduce the second idea we see in this passage regarding what following God looks like which is trusting God's direction. ¹⁷When Pharaoh let the people go, God did not lead them by way of the land of the Philistines, although that was near. For God said, “Lest the people change their minds when they see war and return to Egypt.” ¹⁸But God led the people around by the way of the wilderness toward the Red Sea. And the people of Israel went up out of the land of Egypt equipped for battle. Then verses 21-22, ²¹And the LORD went before them by day in a pillar of cloud to lead them along the way, and by night in a pillar of fire to give them light, that they might travel by day and by night. ²²The pillar of cloud by day and the pillar of fire by night did not depart from before the people. Here we get to see God's thinking about why he leads the way he does. At first we see God's leading keeping them from a fight, although that will come. And the reason is that he is trying to build their trust in him and he doesn't want their infant faith in him to fail at the very beginning. He is going to test their faith soon as we will see, but it will be in such a way that they cannot possibly return to Egypt, but will have no choice but to trust in him. While God wants their faith in him to grow, his leading will be in such a way to strengthen and not destroy their faith. Difficulty is coming, but he is protecting them from other difficult circumstances that will destroy their faith rather than increase it. God never promises to take away all the obstacles, but he does promise that he will provide a way out for those who continue to trust in him. Too many times we see the difficulties and will never know until we see God in Heaven what he kept us from going through that might have hurt us even worse and caused us to turn away from him. 1Corinthians 10:13 says, No temptation has overtaken you that is not common to man. God is faithful, and he will not let you be tempted beyond your ability, but with the temptation he will also provide the way of escape, that you may be able to endure it. But as we continue to read we see that this pillar of cloud and pillar of fire containing God's presence would soon lead them to a place of greater trust in him by the people and greater glory for himself, which is always where God leads. Going into chapter 14 starting at verse 5 we read, ⁵When the king of Egypt was told that the people had fled, the mind of Pharaoh and his servants was changed toward the people, and they said, “What is this we have done, that we have let Israel go from serving us?” ⁶So he made ready his chariot and took his army with him, ⁷and took six hundred chosen chariots and all the other chariots of Egypt with officers over all of them. ⁸And the LORD hardened the heart of Pharaoh king of Egypt, and he pursued the people of Israel while the people of Israel were going out defiantly. ⁹The Egyptians pursued them, all Pharaoh's horses and chariots and his horsemen and his army, and overtook them encamped at the sea, by Pi-hahiroth, in front of Baal-zephon. It didn't take long for Pharaoh to regret his decision to let the Israelites go. And once again, we see God harden his heart in such a way that it seemed the people of Israel would suffer. And of course this is exactly how the Israelites reacted. Look at the end of verse 10. And the people of Israel cried out to the LORD. ¹¹They said to Moses, “Is it because there are no graves in Egypt that you have taken us away to die in the wilderness? What have you done to us in bringing us out of Egypt? But unlike before Moses does not react with the same fear. Moses responds with complete trust in God in verse 13. ¹³And Moses said to the people, “Fear not, stand firm, and see the salvation of the LORD, which he will work for you today. For the Egyptians whom you see today, you shall never see again. ¹⁴The LORD will fight

for you, and you have only to be silent.” Moses has already reached the place where he trusts God’s direction, and this is where God is taking the people of Israel. They are following God, but do not yet trust the direction God is taking them. Now God will work a miracle to build their confidence in his leadership.

Picture the situation. They are trapped between the Egyptian army advancing towards them with the most modern of military strength at that time, chariots and horses and spears and swords and the red sea in front of them. You can see the areas marked on the map. We are likely talking about either the Gulf of Suez (in red) or the Gulf of Aquaba (in green) in modern terms. The entire area was known as the Red Sea. In the Japanese translation it says Sea of Reeds and provides the alternate translation of Red Sea in the printed version footnote. Both names for the sea have been used in history, but some liberal scholars have used this other name to argue for a less miraculous event where the water was not very deep, but it was the same body of water. More than a million people were now trapped at its edge. But then the cloud moved blocking the view of the Egyptians and we read in verse 21, ²¹ Then Moses stretched out his hand over the sea, and the LORD drove the sea back by a strong east wind all night and made the sea dry land, and the waters were divided. ²² And the people of Israel went into the midst of the sea on dry ground, the waters being a wall to them on their right hand and on their left. The Israelites crossed on dry ground. But when the Egyptians try to do the same thing, we read in verse 26, ²⁶ Then the LORD said to Moses, “Stretch out your hand over the sea, that the water may come back upon the Egyptians, upon their chariots, and upon their horsemen.” ²⁷ So Moses stretched out his hand over the sea, and the sea returned to its normal course when the morning appeared. And as the Egyptians fled into it, the LORD threw^[c] the Egyptians into the midst of the sea. ²⁸ The waters returned and covered the chariots and the horsemen; of all the host of Pharaoh that had followed them into the sea, not one of them remained. We don’t know what if any immediate effect this loss of 600 chariots had on Egypt, and they remained the empire they were for another 1000 years. But for the Israelites, we do know the effect seeing this miracle had on them when we look at verse 31. ³¹ Israel saw the great power that the LORD used against the Egyptians, so the people feared the LORD, and they believed in the LORD and in his servant Moses. There is a final point of truth here about trusting God’s direction, that also ties back to remembering God’s work. It is this - each victory leads to more trust. Now with this newfound trust in God’s direction, he could lead them on this journey that would end up taking 40 more years.

The end of this passage shows us the last idea regarding what following God looks like which is that we respond to God’s leading in worship. The more trust we have in his direction, as we look back at what he has accomplished, it leads us to genuine worship. Look at chapter 15, verse 1. ¹⁵ Then Moses and the people of Israel sang this song to the LORD, saying, “I will sing to the LORD, for he has triumphed gloriously; the horse and his rider he has thrown into the sea. Notice how God’s work on their behalf as they have followed God’s leading shapes their worship in this song. This is such an incredible song, I encourage you to read all of it at some point. Verses 2-4 focuses on the bigger picture of what this event represents – salvation. ² The LORD is my strength and my song, and he has become my salvation; this is my God, and I will praise him, my father’s God, and I will exalt him. ³ The LORD is a man of war; the LORD is his name. ⁴ “Pharaoh’s chariots and his host he cast into the sea, and his chosen officers were sunk in the Red Sea. There is an honoring of God’s name based on a specific described

event. This was not generic words strung together with no context of the praise given to God, like so many songs that pass for worship songs today. This recounting of the events lead to a celebration of God's attributes. Look at verses 11-13. ¹¹ "Who is like you, O LORD, among the gods? Who is like you, majestic in holiness, awesome in glorious deeds, doing wonders? ¹² You stretched out your right hand; the earth swallowed them. ¹³ "You have led in your steadfast love the people whom you have redeemed; you have guided them by your strength to your holy abode. Holy, love, glory, all words that describe God and build our trust in him for the way he will lead us in the future not just the past. The future for Israel was the promised land. Verses 17-18 say, ¹⁷ "You will bring them in and plant them on your own mountain, the place, O LORD, which you have made for your abode, the sanctuary, O Lord, which your hands have established. ¹⁸ "The LORD will reign forever and ever." Our worship should be shaped in the same way. Why do we focus so strongly on the cross in our worship songs, because everything else in the life of a Christian flows out of looking back at that event so it shapes our worship. Even when we declare our trust in God or our desire to follow God, it flows from a foundation of trust in Jesus and his finished work on the cross. So we are doing the same thing we see here. We could spend a lot more time on that, but the point is that worship flows naturally from our trust in God and his leading.

Here we see Israel worship as a response to what God has already done, but we also see worship come before deliverance happens. Paul and Silas, two of the first missionaries in the New Testament had been thrown in prison in the city of Philippi. And in Acts 16: 23-25 we read, ²³ "And when they had inflicted many blows upon them, they threw them into prison, ordering the jailer to keep them safely. ²⁴ Having received this order, he put them into the inner prison and fastened their feet in the stocks. ²⁵ About midnight Paul and Silas were praying and singing hymns to God, and the prisoners were listening to them, Where did this worship come from if deliverance had not even been provided? It was because they had experienced the greatest deliverance. This event of the crossing of the Red Sea was an incredible miracle of deliverance, but there is a greater deliverance and display of God's power than pushing back water and letting it go. 1Corinthians 1:18-19 describes this miracle when it says, ¹⁸ "For the word of the cross is folly to those who are perishing, but to us who are being saved it is the power of God. Those men had recognized their sin that divided them from their Creator, and their need to be saved from their sin. That salvation from sin is only available through the one who was the greater Moses, who provides the path from humans dead in sin to the glory of a holy God by the cross where he died and took our sin on himself and the punishment we deserve. And just like Paul and Silas and Moses himself by faith in a future redeemer, when we repent of our sin and accept Jesus Christ as our Savior, we experience the greatest miracle ever. We move from death to life from perishing to saved. It is only through Jesus Christ. That leads to worship no matter what our circumstances are. If God's leading doesn't bring you to a place of greater worship and dependence on him, then I have to question whether it is God's leading or your own desires that you have been following. God's leading does not generally lead through the path of least resistance, but it will lead to a place of greater faith. We follow God by remembering his work, trusting in his direction and responding to that leading in worship. Is that how you are following God today? Let's pray.